

23年度 第9回運営委員会だより

開催日：2024-3-3（日） 於：ウエルネスパーク セミナールーム 13:30～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、島谷、砂川（延）、須増、荘所、高島、徳本、中村
西脇、野村、春本、平井、藤本、藤原（千）、三木（悦）、森本、安田、矢根、和田

議題

1. 姫路地区 学習会終了山行・大台ヶ原（対象者 14名）
 - ①日程：5月18日（土）～19日（日）で1泊2日の予定である。
 - ②会報4月号に山行案内を掲載する。
2. 学習会（加古川・高砂地区）の日程確認
 - ①3月6日（水）から、第1・第3水曜日にユアアイ帆つとセンターで行う。
 - ②参加予定メンバーは5名：一瀬、石井、岡田、小野、谷
3. 花見例会の取り扱い
 - ①実施日時：3月30日（土）12時開始。
 - ②3月3日（日）高御位例会で募集と集金を行い、参加者は32名であった。
 - ③当日の買い出しは、徳本、森本、安田で行う。
4. 山行計画委員会の検討課題
 - ①3月3日（日）に7～9月の計画を策定した。
 - ②夏山コース・リーダーを決定した。
 - (a)立山縦走と弥陀ヶ原散策 4泊5日（車中1泊）8月19日～23日 MAX8名 L：小田
 - (b)薬師岳～立山三山 5泊6日（車中1泊）8月16日～21日 MAX5名 L：高島（薬師岳）、島谷（立山三山）
 - (c)奥大日岳と弥陀ヶ原散策（ゆっくりズム）（室堂連泊）2泊3日 8月22日～24日 MAX6名 L：藤原
 - (d)立山三山と大日岳 8月21日～24日 3泊4日 MAX6名 L：野村
 - (e)称名滝～大日岳縦走 7月28日～30日 2泊3日 MAX6名 L：砂川
 - ③4月号に夏山コースの一覧表を掲載し、5月5日の高御位例会で募集する。
5. 県連理事会の報告（須増）
 - ①全国連盟総会が2月17～18日に終了、兵庫労山から5名が参加した。
 - ②労山基金の会社組織化（法人化）が決定した。
 - ③兵庫労山から高齢化対策の取り組みとして、大阪府連と合同での筋トレ講習会を紹介した。
 - ④山筋ゴーゴー体操の講師である石田先生が全国連盟を退任された。
6. その他
 - ①労山基金の加入口数：宿泊山行は、原則として5口以上とする。（定期総会で承認後）
 - ②土曜トレ委員会：公開トレは奇数月に行い、会員の紹介者で前日迄に氏名と年齢を連絡する。
 - ③1年に1回弁当持ちの合同土曜トレを行う（平荘湖、朝日山、善防）。半日コースも設ける。

23年度 第8回運営委員会だより

開催日：2024-2-4（日） 於：ウエルネスパーク セミナールーム 13:30～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、島谷、砂川（延）、須増、荘所、高島、中村

西脇、野村、春本、平井、藤本、藤原（千）、三木（悦）、森本、安田、矢根、和田

議題

1. 第24回 初めての山歩き教室・担当者会議

- ①第1回担当者会議：1月27日（土）救命講習会終了後、かこむで実施した。
- ②座学5回：4月10日、4月24日、5月8日、6月12日、5月26日・・・場所：善防公民館
- ③実技4回：4月13日、4月21日、5月26日、6月16日
- ④終了山行：6月29日～30日、氷ノ山 やねや泊
- ⑤チラシ：善防公民館、ユーアイ帆つとセンター、高御位山頂、かこむ、加西市広報、新聞社
- ⑥第2回担当者会議：2月4日の運営委員会終了後、開始する。

2. 姫路地区 学習会終了山行：大台ヶ原（対象者 14名）

- ①日程：5月28日（火）～29日（水） 1泊2日の予定

3. 学習会（加古川・高砂地区）の日程

- ①第1、第3水曜日 **19時開始** 会場：ユーアイ帆つとセンター
- ②参加予定者：5名（一瀬、石井、岡田、小野、谷）
- ③開始時期：3月から開始する。

4. 救命講習会報告（野村）

- ①1月27日（土）加古川防災センター
- ②参加者 19名（運営委員15名、学習会受講生4名）
- ③来年度は一般会員対象に募集：20名程度で10月～1月の予定。

5. 県連理事会の報告（須増）

- ①神戸港山の会行方不明者発見：3ヶ月以上経過後の9月6日に発見。即死の状態。
- ②能登半島地震の義援金募集：全国連盟から要請あり：41,868円の募金があった。
- ③六甲全山縦走大会：1月17日に603名の応募あり、募集を締め切った。
2024年は県連主催、2025年は各会の「協賛」としたい。
- ④各会の交流が乏しい：高御位山遊会会報を県連HPの会員専用サイトに掲載してはどうか？

⇒個人情報保護の問題、高御位山遊会のHPから閲覧可能なので不要では？等で保留。

6. その他

- ①遠方での宿泊山行が増えている。事故発生時の対応として参加者は5口以上を：
遠方での事故対応で捜索費用が高額となる場合があり、5口以上を推奨する。
- ②夏山（8月20日前後に立山周辺を予定）
3月の運営委員会でコース・リーダーを決定し、4月の高御位例会で募集する。

23年度 第7回運営委員会だより

開催日：2024-1-7（日） 於：みどりの相談所 研修棟 13:00～
出席者：上田、尾内、小田、木村、佐々木、島谷、砂川（延）、須増、高島、徳本、中村、西脇
野村、春本、藤本、藤原（千）、三木（悦）、森本、安田、矢根、和田

議題

1. 納山会について

- ① 23年の納山会は多紀アルプス 西ヶ嶽・三嶽20名の参加で無事終了
- ② 24年の山行先は検討課題であるが、「新たんば荘」の使用は継続したい。
- ③ 今回は少し値上がりして17,000円であるが、マイクロバスでの送迎や、翌日の昼食込みを考慮すると妥当と思われる。

2. 1月1日（元旦）ご来光登山、1月3日（水）新春トレの結果

- ① ご来光登山：11名の参加・長尾新池起点に往復。
- ② 新春トレ
 - ・ロング：新池駐車場～高御位山～桶居山～別所奥山～百間岩～鹿島神社～新池駐車場 8名
1班：小田敏子（L） 須増勇 三木悦子 島谷智美
2班：徳本明巳（L） 高島寛子 尾越淳子 中村郁子
 - ・ショート：新池駐車場～北山登山口～北山鉄塔～高御位山～百間岩～鹿島神社～新池駐車場 11名
1班：乙坂幸子（L） 平井正博 坂本芳子 笹木成子 一瀬知子 砂川延也
2班：安田孝子（L） 森本勲 上田利昭 阿久津小百合 白井理恵

3. 加西・加東地区 今年の教室開催の計画について

- ① 会員募集チラシ作成。入会申込書も併記する。
- ② 24年度募集条件は、講習中の事故や運営に関わる担当者、講師の負担軽減を考慮して入会を前提で募集する。
- ③ 受講にあたり受講料1500円、入会金1000円・会費1000円・労山基金（3口300円／月）を集金する。
- ④ 担当者会議：1月27日の救命講習会終了後、かこむで行う。

4. 学習会（加古川・高砂地区）を検討

- ① 場所はユアアイ帆っとセンターを予定している。
- ② 3～4月から開始、終了は11月か12月の予定。

5. 救命講習会参加者の確認 ※午前中は平荘湖で土曜トレ（合同）・三点確保実技あり

- ① 1月27日（土）：加古川防災センターで開催予定。13時15分集合、3時間コース。
- ② 参加者は21名：運営委員17名、教室生4名

6. 県連盟・理事会報告

- ① 荣誉功労賞・在籍20年以上、県連盟7名を申請。来年度は高御位山遊会から2名の申請を行う。
- ② 3月10日（日）六甲全山縦走大会へ1名、個人で申請あり（西半縦）。
高御位山遊会として申し込みの窓口が必要ではないか？事故時や下山連絡の確認も要検討。

7. その他

- ・2月4日（日）の高御位例会・運営委員会の会場：ウエルネスパーク セミナールーム（9時半～17時）

23年度 第6回運営委員会だより

開催日：2023-12-3(日) 於：ウエルネスパーク キッキングスタジオ 13:30～

出席者：上田、尾内、小田、木村、島谷、砂川(延)、須曾、高島、荘所、徳本、中村、西脇
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

- (1) 年末年始の計画確認
 - ・例年通り進める。12/24：クリスマス山行、1/1：ご来光登山、1/3：新春トレ
- (2) 納山会の計画について：参加人数20名
 - ①日程：12月9日(土)～10日(日)
 - ②集合場所・時刻：山電高砂駅北8:30・JR宝殿駅8:45・JR加古川駅9:00・滝野庁舎前9:50(送迎バス利用)
 - ③宿泊場所：新たんば荘 丹波篠山市郡家451-4 (☎079-552-3111)
 - ④会費：17,000円(2日目の昼食代を含む)
 - ⑤1日目：(a)三嶽から大吶峠(おおたわとうげ)(ゆっくりズム) リーダー砂川(延)
コース：奥畑～馬ノ背～鳥居堂跡～三嶽～大吶峠※データ：歩行時間約4時間
※登山口を去年より奥にして歩き易くし、距離と時間を短縮する。
(b)西ヶ嶽から大吶峠 リーダー尾内
コース：栗柄登山口～西ヶ嶽～三嶽～大吶峠 ※データ：歩行時間約4時間
※途中の黒豆の里でトイレ休憩をとる。
 - ⑥2日目：(a)丹波篠山市内散策 or 盃ヶ岳(さかづきがだけ)登山
(b)雨天の場合：市内散策とする。
(c)昨年同様にグループ毎に送迎をしてもらい、新たんば荘で昼食をとる。
- (3) 救命講習会
 - ①開催日時・場所：1月27日(土)13時15分・加古川防災センター集合
 - ②参加者：24名(学習会：5名、運営委員：19名)
 - ③当日、受講カードを持参すること。事前にHPのウェブ講習を見ていると分かり易い。
- (4) 県連理事会の報告
 - ①県連HP：リニューアル後の会員登録：5.3%、高御位山遊会：2名
 - ②六甲山トイレ問題：11月6日に理事3名神戸市経済観光局を訪問。
・六甲入山者数やトイレ調査データを提供、トイレ利用マナー啓発パンフレットを提示。
 - ③六甲全山縦走大会：来年3月開催、サポート会、スタッフ登録数が少なく、県連主催が難しい。
 - ④事故防止のための「筋力トレーニング」今年は大阪労山と合同で開催。全国連盟に支援金要請。
- (5) 学習会(姫路地区終了・終了山行：来年に検討) 来年度：加古川・高砂地区
※来年度の教室は、加西地区で検討したいが、どうか?
・今後、加古川・高砂地区に固定してはどうかとの意見もあるが、広範囲に募集するために、再度加西地区の担当で加西地区開催について検討する。
- (6) 来年の夏山・立山方面のルートを提示。
 - ①集中なしで1泊・2泊・3泊のコースの検討案を提示。(野村)
 - ②来年の夏山は、立山方面とし、全体の集中は行わない(宿泊やアクセスで集中は困難)。
 - ③8月20日頃を基準にリーダーが各自のコースを立案する。
 - ④複数のパーティーが、特定の山小屋で集中となる可能性はある。
- (7) HPへの山行写真のアップロード：
 - ①HPを見られない会員が居るので、従来通りリーダーが写真担当は、参加者に写真を送付する。
 - ②HPへの動画のアップはしないこと。
- (8) ポイズンリムーバーの補充
 - ・現在5個を確保中。個人で所有のため不要な6名を除き、必要数を追加納入する。

23年度 第5回運営委員会だより

開催日：2023-11-5(日) 於：ウエルネスパーク クッキングスタジオ 13:30～
出席者：尾内、小田、佐々木、島谷、砂川(延)、高島、荘所、徳本、中村、西脇
野村、春本、藤本、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 年末年始の計画確認

- ① 1月のご来光登山・新春トレは予定通り行う。
- ② 12月24日(日)クリスマス山行は、ケーブルカー使用組と通常組に分かれて行う。

(2) 納山会の計画について

- ① 11月5日高御位例会での募集結果18名であった。
- ② 例年通り多紀アルプス 西ヶ嶽・三嶽で実施する。
- ③ 日程：12月9日(土)～10日(日)
- ④ 集合場所・時刻：山電高砂駅北8:30・JR宝殿駅8:45・JR加古川駅9:00・滝野庁舎前9:50(送迎バス利用)
- ⑤ 宿泊場所：新たんば荘 丹波篠山市郡家451-4 (☎079-552-3111)
- ⑥ 会費：17,000円(2日目の昼食代を含む)
- ⑦ 1日目：(a)三嶽から大吶峠(おおたわとうげ)(ゆっくりズム) リーダー砂川延也
コース：火打岩～馬ノ背～鳥居堂跡～三嶽～大吶峠 ※データ：歩行時間約4時間
※登山口を去年より奥にして歩き易くし、距離と時間を短縮する。
(b)西ヶ嶽から大吶峠 リーダー尾内昭代
コース：栗柄登山口～西ヶ嶽～三嶽～大吶峠 ※データ：歩行時間約4時間
- ⑧ 2日目：(a)丹波篠山市内散策 or 盃ヶ岳(さかづきがだけ)登山
(b)昨年同様にグループ毎に送迎をしてもらい、新たんば荘で昼食を取る。

(3) 女性委員会報告

※女性委員会の山行計画：10月22日に24年3月～11月の計画を策定した。

(4) 県連理事会の報告

- ① 和歌山県で行方不明の件：8月20日(日)73才で個人山行、標高300mで海岸沿いの難しくないコース。単独行は駄目・・・計画書未提出
- ② 六甲山トイレ問題：神戸市観光局に会長・理事長・担当者が出向き要請中、六甲山行時にトイレ使用の調査依頼がある。
- ③ 六甲全山縦走大会：来年3月開催、サポート会の減少で現状は何とか開催できる状況である。
- ④ HPリニューアル：一般公開のために更新。2300名の会員に対して登録は100名。

(5) 高齢化対策：今年の夏山では、参加者の高齢化を感じた。4泊や5泊は長すぎる？

夏山集中山行は、納山会の様に1泊や2泊程度の簡単なコースにすべきではないか？

※来年の夏山は、立山方面とする。12月の山行計画委員会までに各自希望のコースを検討し、当日提案する。

なるべく若手がリーダーを担い、ベテランがサブリーダーで助言・補助を行う。

5. その他

- ① 救急セットの確認：(a)運営委員全員に支給されている。(b)蜂が繁殖しており、ポイズンリムーバーを補充し、5個を10個にする。(c)飲み薬は、各自の体調に合わせて本人が持参する。(d)参加者に対しツェルトが少ない：各自エマージェンシーシートを用意するのが良い。
- ② 全国的に事故が増えている。高御位山遊会でも事故が多くなっている。歩くペースを落として！悪天候の中では活動の中止も考慮する。
- ③ 救急救命講習会：1月27日(土) 加古川防災センター13時15分集合
参加者：24名(運営委員：19名、学習会生：5名)
- ④ 会員の携帯電話番号・自宅電話番号記載リスト：連絡網は復活しない。地区別リスト作成。加入年月・在籍年数・加入回数の一覧表も作成し、運営委員に送付する。
- ⑤ 山行計画の追加：(a)3/19～21：京都トレイル(高島)、(b)2/18：六甲東半縦、(野村)
(c)2/25：六甲西半縦(三木(悦))

23年度 第4回運営委員会だより

開催日：2023-10-1(日) 於：高砂市総合体育館会議室 13:30～
出席者：上田、尾内、小田、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、荘所、徳本、中村、西脇
野村、春本、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、矢根、和田

議題

- (1) 23年度 組織体制表
 - ① 専門委員の募集結果：
 - (a) スロートレッキング：田羅間、平石、山本(清)
 - (b) 高森ボランティア：阿久津、佐野、平石
 - ② この内容で、組織体制表を11月5日(日)の例会で会員に配布する。
- (2) 労山基金申請マニュアルについて
 - ① 8月12日(土)の土曜トレ委員会でのマニュアル作成依頼を受け、森本が(案)を作成。
 - ② 申請窓口は、労山基金担当の徳本が担当する。
 - (a) 事故一報(全国連盟用と県連用)は、リーダーが作成し、徳本が入手・発送する。
なお、土曜トレの事故一報は、佐々木が作成する。
 - (b) 事故一報は、運営委員にも通知する(徳本)。
 - (c) 以降の交付申請手続きは、徳本が執り行う。
 - (d) 交付金の支給は、会計の矢根が行う。
 - ③ 事故一報を基に、現場に行き検証し、原因・対策を討議し事故防止に繋げることが重要。
- (3) 荒井中のトライやるウィークの取り組みについて
 - ① 11月6日(月)～10日(金)で男子5名の依頼がある。
 - ② 現在の状況から、断る方向で進める。
- (4) 納山会の計画について
 - ① 12月9日(土)～10日(日)で新たんば荘に40名の予約を入れている。
 - ② 1日目は、昨年同様の2ルートで進める。
 - ③ 2日目は、篠山市街散策班と山行班に分かれ、全員新たんば荘で昼食を取る。
 - ④ 11月の会報で山行案内を掲載し、募集を行う。
- (5) 高御位山遊会賛歌について
 - ・ 毎月の例会で開始時に斉唱を行う。
- (6) 県連理事会の報告
 - ① 県連のHPが更新され、メールアドレス・ユーザー名・パスワードの登録が必要である。
 - ② 和歌山県での行方不明の件：8月20日(日)73才で個人山行、標高300mで海岸沿いの難しくないコース。百名山ほぼ達成者。3回の現地調査でも不明。単独行は駄目・・・
 - ③ 六甲全山縦走大会に参加の場合は、グループ毎に申請する。
 - ④ 高齢化対策：高御位山遊会の取り組みについて
 - (a) 今年の夏山では、参加者の高齢化を感じた。4泊や5泊は長すぎる。
 - (b) 夏山集中山行は、納山会の様に1泊や2泊程度の簡単なコースにすべきではないか？
 - (c) 参加者の体力・技量を把握しておく必要がある。
山行先を早く決め、山行先に見合った十分な事前トレが必要。
 - (d) 夏山集中をするのかしないのか、どの方面に行くのか早く決める必要がある。
 - (e) 次回の山行計画委員会で検討していく。
- (7) 土曜トレ委員会

10月第2週からの公開トレでの保険の加入：ハイキング限定のセブンイレブン掛け捨ての「みんなまとめて安心プラン」を検討中である。
- (8) 10月～12月の高森ボランティアは休止し、地区別土曜トレとする。
- (9) 退会者の確認：苦瓜さんが、9月末退会。

23年度 第3回運営委員会だより

開催日：2023-9-3(日) 於：みどりの相談所 研修室 13:30～
出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、須増、高島、荘所、徳本、中村、西脇
野村、春本、藤原(千)、森本、矢根、和田

議題

(1) 23年度 夏山集中結果報告と総括 (計30名)

①西穂高岳・独標 (L:佐々木) 2泊3日 13名

砂川会長が入院のため、佐々木がリーダーとなり、三木(悦)に参加して貰った。当初は奥飛騨で1泊し、翌日ロープウェイで登り独標へのコースであったが、西糸屋山荘到着が遅くなることから独標を中止とした。しかし独標や山小屋希望者が多く、西穂山荘泊に変更した。丸山班と独標①班・②班に編成した。1グループ13名は多すぎる、8名が限度ではないか？下山中にリーダーが腰痛発生。山行前から兆候有り、体調不良での参加に問題があった。

②岳沢～前穂・奥穂高 (L:尾内) 3泊4日 3名

1日目西糸屋山荘に荷物を預け岳沢小屋に向かう。直後降雨と雷があったが、無事小屋に到着した。2日目は4時に出立。前穂高岳・奥穂高岳に登頂、頂上で山岳風景を堪能した。下山中にジャンダルム方面の救助ヘリを見て緊張する。3日目はザイデングラードを無事下山。4日目は西糸屋山荘を4時出立し、焼岳に登頂。中の湯温泉経由で帰宅した。不参加となった兼澤さんの岩山トレでの鎖・ロープの指導が役立った。奥穂と焼岳でリーダーを交替したのがよかった。

③槍ヶ岳・表銀座 (L:須増) 5泊6日 4名 (中房温泉前泊)

1日目朝食後出発のため、燕山荘到着が遅くなり、雨のため燕山登頂を翌日に変更。2日目登頂の為、ヒュッテ西岳着までの行程(距離・時間)が長くなった。3日目槍ヶ岳山荘到着時は霧だったが槍ヶ岳に登った。4日目西糸屋山荘着。長距離の歩行で疲れた。1日増やしたので楽な山行ができた。Yさんが風邪気味だったが薬の持参がなかった。腹痛薬も含めて準備が必要である。山行翌日の天気や降雨時刻の確認が重要である。

④折立～雲ノ平～新穂高温泉 (L:野村) 4泊5日 3名 (富山駅前前泊)

1日目北アルプス最後の秘境「雲ノ平」には時間短縮のため折立(1350m)から入り、太郎平小屋(2350m)経由薬師沢小屋(1912m)泊。2日目はアラスカ庭園(2464m)経由雲ノ平に到着。祖母岳のアルプス庭園から360度のパノラマを満喫後、雲ノ平山荘・スイス庭園・祖父庭園・日本庭園・黒部源流に向かった。途中H氏が転倒し足首を捻挫、三俣山荘にて治療を受けた。3日目は三俣蓮華岳の巻道経由双六小屋・鏡平小屋・新穂高温泉から西糸屋山荘に到着。夏山集中山行としては厳しいコースだった。

⑤新穂高温泉～槍ヶ岳 (L:上田) 4泊5日 7名 (夜行バス泊)

1日目新穂高温泉ロープウェイ駅から出発。白出沢出会・滝谷出会経由槍平小屋到着。到着前30分位降雨があった。2日目出発1時間後にY氏が体調不良となり荷物を分割し、2班に分けてリーダーとY氏が遅れて出発した。槍ヶ岳山荘には40分遅れて到着。当日槍ヶ岳登頂の予定が、霧のため翌朝に変更した。3日目は4時登頂開始、頂上でご来光を見て下山。6時から上高地目指して出発。横尾からはガラダラの3時間の平坦地で疲れた。アルプスの経験の少ないメンバーで事故もなく完遂。山小屋の貴重な経験ができた。

※参加者の分散を図るため、あと1～2コース増やすべきではなかったか？

(2) 新組織体制の確立について (須増)

①組織体制表の「山行計画委員会」を中心に討議した。

②「土曜トレ委員会」を1段上げて「教育部」の下に移動する。

(3) 救急救命講習会：1月28日(日) 9時から実施で加古川市防災センターに申し込む。 30名枠とし運営委員と学習会受講生で募集する。(12月初めに参加者を確定する)

(4) 土曜トレ委員会：10月の第2週から試験的に公開トレとして家族等の一般参加を開始する。 保険の関係で最大20名とし、様子を見て4月から正式に活動する。

23年度 第2回運営委員会だより

開催日：2023-8-6(日) 於：みどりの相談所 研修室 11:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、荘所、中村
西脇、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

(1) 23年度 夏山集中 取り組みその後

提案コース：参加者合計 35名

- (a) 西穂高岳・独標 (L: 砂川) 2泊3日 16名
 - (b) 岳沢～前穂・奥穂高 (L: 尾内) 3泊4日 4名
 - (c) 槍ヶ岳・表銀座 (L: 須増) 5泊6日 4名
 - (d) 折立～雲ノ平～新穂高温泉 (L: 野村) 3泊4日 4名
 - (e) 新穂高温泉～槍ヶ岳 (L: 上田) 4泊5日 7名
- ① 帰路のアルピコ交通の大型バスの乗車数が27名となり、バス代が16,000円/人と高額となるため、キャンセルする。
 - ② 帰路は、上高地BT～平湯、平湯～高山BT、高山BT～大阪東梅田の高速バスに変更する。
 - ③ 上高地BT・平湯の乗車時刻は、グループ毎に自由。高山BT集合：13時20分
高速バスは、26名分の予約済み。料金：8,280円/人(1,180+1,600+5,500)
 - ④ 部屋割り：8人部屋を3～5名で使用します。1階は、「あかはら」と「雷鳥」のみです。
 - ④ 「岳沢～奥穂高」班(雷鳥)は、早朝3時発のため男女同部屋(前日に弁当受領)
 - ⑤ 各班の会計は、夕食前に会費(14,000円/人)を(小田さん、本田さん)に渡す。
(宿泊代：12,000円/人、夕食費：1,300円/人、事務費：100円/人)
 - ⑥ 西糸屋山荘での夕食は、小田さん・本田さんがアシストし、班ごとに番号札の席に座る。
 - ⑦ 下山連絡は、森本が一括して行います。(和田さんに連絡する)
 - ⑧ 登山に不要な荷物は、事前に西糸屋山荘へ送付願います。
(ヤマト運輸で・班ごとに・高御位山遊会と個人名を明記・宿泊の4～5日前に送付)
 - ⑨ 集合写真は、8月22日全員到着後、玄関前で撮影する。

(2) 新組織体制の確立について

- ① 「運営委員会諮問委員」を新設した。狙いは、運営委員会の前に討議内容を詰めておく。
女性会員が多数であり、女性の意見を反映させるため、女性の委員を増員した。
 - ・ 諮問委員会を定例化するため、最終週の木曜日10時から市ノ池研修室で行う。
 - ・ 会則第11条(6)「運営委員会の活動を円滑に行うため、専門部を設けることができる」ことから新設する。
 - ・ 副会長をなくすため、来年の定期総会で会則の見直しを行う。
- ② 山行企画部の下部組織の組織体制の見直しを行う(須増)。
 - ・ 山行計画委員会：年間の定例行事の日程を予め決めておく。
- ③ 六甲全山縦走：県連の狙いは、一般参加者からの入会による会員増である。
 - ・ 高御位山遊会の主旨は異なっており、大会のサポートもできないので削除する。
 - ・ 大会に参加する場合は、グループ単位で県連に申し込む。
- ④ 「海外トレッキング」：コロナ以降休止状態で、来年以降も困難なため削除する。
計画がある場合は、一般山行扱いで進める。

(3) 救急救命講習会：運営委員限定として、9月の山行計画委員会で日程を決める。

23年度 第1回運営委員会だより

開催日：2023-7-2(日) 於：市ノ池みどりの相談所研修棟 11:10～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、木村、佐々木、砂川(延)、須曾、荘所、高島、徳本、中村
西脇、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

議題

1. 次期会長の選出：次期会長に砂川(延)を選出した。